



奉仕を通じて

平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

平成24年11月20日(火)

第2610回 例会

(本年度第19回)

例会場 東京第一ホテル 鶴岡
(鶴岡市錦町 2-10)

例会日 毎週火曜日
(12:30~13:30)

ホームページ◎<http://www.tsuruokarc.org/> Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp

本日(12/4)のメインプログラム

年次総会

次週(12/11)のメインプログラム

通常例会

会長挨拶

阿部純次君

今日は、最初に訃報から連絡いたします。

鶴岡RC元会員、第41代会長の平田正さんが、11月16日(金)午後6時5分永眠なされました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

11/13(火)に18人出席のもと、紅屋さんにおいてインフォーマルミーティングが行われました。出席した方お疲れ様でした。藤川PGを講師として、主に「会員増強・職業奉仕」について学ばせていただきました。

ロータリアンの義務というより権利である例会へ出席し、例会を修練の場として、「品格の向上、知恵を向上」させることにより、事業も継続的な発展が可能となりそれが職業奉仕・社会奉仕へと繋がり、社会から信頼され尊敬される、人なり・企業に結びついてゆくはずであるという趣旨であったかと思えます。大変内容の濃い有意義な1時間でありました。藤川PG誠に有り難うございました。

その後、1時間余り、紅屋さんの美味しい料理をいただきながら大いに盛り上がりました。参加された皆さんお疲れ様でした。

今月・11月は、ロータリー財団月間となっており、先々週は財団月間と言う事もあって、池田徳博地区ロータリー財団委員長に「新地区補助金について」の卓話をいただきました。皆さん、理解して頂けたでしょうか。

今日は、今月の月間にちなんで、「ロータリー財団とは」「ロータリー財団月間とは」ということで、勉強を兼ねて初歩的な、話をさせていただきたいと思えます。

ロータリー財団((TRF) The Rotary Foundation)の正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」となっているのは皆さんご承知だと思います。

ロータリー財団は、1917年(T6年)、米国ジョージア

州アトランタで開催された国際大会において、アーチC. クランフという人が「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でよりよき事をする為に基金をつくらう」と提案したことに始まり、1928年(S3年)に国際大会でロータリー財団と名付けられ、1931年(S6年)に「信託組織」となり、そして1983年(S58年)に米国イリノイ州法の法令の下に「非営利財団法人」となりました。

ロータリー財団を構成する法人会員は国際ロータリー(RI)のみであり、ロータリー財団の正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」であります。国際ロータリー(RI)と法的に組織は違っても、その目的・使命・活動は両者共に一体のものである、となっております。

また「ロータリー財団月間」は(The Rotary Foundation Month)RI理事会と、管理委員会が、毎年11月はこの月間を遵守すること、月間中クラブは少なくとも1つのクラブ・プログラムを財団のために実施することを決定しました。

月間中は、ロータリー財団補助金受領者その他(例えば、ロータリー財団国際親善奨学生など)が、クラブ例会や教育機関や地域社会の会合で、ロータリー財団について講演するよう示唆されています。財団の奨学金事業、および人道的諸事業についての知識と理解を深め、財団の推進に役立つプログラムを実施するよう推奨しております。

ロータリー財団月間とは、ロータリー財団とは何かをもう一度考えてみる月、そしてロータリー財団プログラムについて知識を深める月間といえると思います。

また、クラブ財団委員会が中心となって、①財団フォーラム ②ロータリー財団のプログラムについての卓話 ③情報集会 などを通して理解を深めてくれるようにもっております。

「ロータリー財団」は皆様の寄付金で成り立っています。私たちの寄付金が無ければ、ロータリー財団プログ

出席報告

会員数	41名
出席	23名
出席率	58.97%
前々回確定出席率	82.05%

■RI会長 田中作次

■地区ガバナー 和田 廣

■会長/阿部純次 ■副会長/丸山隆志 ■幹事/西川富美子 ■会長エレクト/嶺岸禮三
■会報委員会/橋本 至・嶺岸禮三・小林健郎・武田啓之

事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL(0235)28-3375 FAX(0235)28-3376

ラムは存在し得ません。そして、2013-14年度から始まる「新地区補助金制度」に基づいて研修を重ね、「新地区補助金制度」を習得してくださいと示唆しております。

ロータリー財団の最優先チャレンジは、「ポリオの撲滅」です。ロータリークラブがいろいろなイベントを行うには大きなお金が必要になります。会員のみなさんが自由意志で善意に満ちた寄付をすることにより、ロータリーへの情熱が高まり、そして財団への寄付が多くなり、会員の皆様の財団への意識が高まることにより財団の目的が達成されて行くのかなと期待する次第です。

新入会員の皆さんは、当クラブの「250運動」というのをご存知でしょうか。先月、BOXの中に封筒を配布させていただきました。ロータリー財団へ100ドル、米山奨学会へ15,000円と記入された封筒です。

「250」とは、例会1回につき250円、1ヵ月約4回の例会がありますから、250円×4回=1,000円となります。1年では12,000円となり、約100ドルのロータリー財団への寄付金が貯まることになります。寄付は一括でもいいのですが、月々の方が都合の良い方は封筒を利用して納付していただくために配布させていただいておりますので宜しくお願いします。

尚、当鶴岡クラブの今年度のロータリー財団へのクラブ寄付目標として、

- ①ロータリー財団への年次寄付は、一人150ドル(内50ドルはクラブ負担、実質100ドルの個人寄付)、(RI目標=100ドル、地区目標=120ドル)となっており、
- ②米山奨学会年次寄付目標は、一人20,000円(内5,000円はクラブ負担、実質15,000円の個人寄付)、(地区目標=15,000円)を皆さんにお願いしております。皆さんの善意で目標が達成できるよう、ご支援ご協力の程宜しくお願い致します。

幹事報告

西川 富美子 君

GE事務所

- 2013-14年度 地区委員会推薦名簿
- 2013-14年度 クラブ事務局名簿
- 2013-14年度 会長エレクト・次期幹事略歴報告書
顔写真 11/末
- 2013-14年度 地区補助金に関して

会員増強特別例会

職業分類・会員選考・会員増強・会員維持委員会 委員長 佐藤 孝子 君

昨年度、牧委員長の提案で行われた「会員増強検討例会」を本日同様の趣旨で開催します。先日のインフォーマルミーティングにおいて、藤川パストガバナーからロータリー会員減少についてのお話がありました。地区でも会員数が1700名を切るなど減少が続いていますが、当クラブ



は昨年の青柳年度で純増4名を達成することが出来ました。会員数40名台も回復することが出来ました。これは会員の皆様の協力があったことだと思っています。

これから小グループに分かれて、職業分類表を参考に皆様の交友関係から会員候補者の推薦をご検討いただきます。お名前が上がった方にはクラブ全体でアプローチしクラブに入ってもらえるよう努めてまいります。会員増強委員会の委員の方に各グループに入ってもらい、取りまとめをお願いします。「ロータリークラブ入会のご案内」という他地区で製作したパンフレットが各グループに置いてあります。「ロータリークラブとは何か」「入会の条件は」「クラブ入会のメリット」「ロータリアンの守るべき道とは」といった基本的なことが書いてあります。入会を勧める際の参考にして頂ければと思います。ではこれより情報交換を開始してください。



例会終了時数名の名前が上がり、担当委員会を中心に候補者訪問を行うこととなった。

委員会報告

◆出席委員会

◎メイクされた方

菅原成規・藤川享胤・嶺岸禮三・牧 衛
塚原初男・阿部純次

スマイル 😊

木村 節さん 先月、孫ができました。男の子です。これからはおじいさんですけど、何だか良く理解できません。当館丸山君(ローターアクト在籍)が、今月で退社します。大変お世話になりました。

阿部純次君 ロータリー財団寄付及び、会員増強の目標達成へのご協力宜しくお願い致します。

真島吉也君 ロータリー情報委員会です。先週のインフォーマルミーティングに大勢参加していただき、ありがとうございます。次回は、塚原さんをお呼びして第2回目をやりますのでよろしくお願いします。

佐藤孝子さん 会員増強のご協力よろしくお願いします。